

## V いじめ・不登校等対策の充実

(単位：千円)

### 新 中学校及び高校0年生からの教育相談事業

26,147

中学校及び高校入学前に全ての生徒に心理教育テストを実施し、SC（スクールカウンセラー）と児童生徒・保護者面談や、出身学校と進学先の教職員やSCとの情報交換を行うとともに、入学後4月にSCとの教育相談を行うことで、入学後も切れ目のない支援体制を構築し、いじめや不登校等の未然防止に係る教育相談体制の充実を図ります。

#### ■取組① 全国初の取組として、入学前の生徒（中学校及び高校）を対象に心理教育テストを実施

○入学前の全ての生徒を対象に心理教育テストを実施し、小学校、中学校で不登校になっていた生徒や個別の支援計画をもつ生徒、進学先の学校生活で不安や悩み等を抱える生徒など、入学後にサポートが必要な生徒を早期に把握する。

#### ■取組②-1 全国初の取組として、入学前の生徒、保護者を対象にSC面談を実施

○取組①で把握した生徒及び保護者を対象に、SCが面談を実施

#### ■取組②-2 出身学校の教職員等との情報共有

○取組①で把握した生徒の出身学校の教職員等と進学先のSCが情報共有を行う。

#### ■取組③ 入学後、SCによる早期の教育相談

○取組①、②で教育相談が必要と判断した生徒及び保護者を対象に、入学後4月に2回、SCが対面での教育相談やオンライン相談（チャット相談）を実施する。

#### 入学前の支援として 新たな2つの取組

①心理教育テストや、②生徒やその保護者に対するSCによる面談の実施、出身学校の教職員とSC等が情報交換できる体制を確立し、入学後の学校生活へ強い不安や悩みを抱える児童生徒を各学校が早期に把握



#### 入学後の支援として 新たな1つの取組

従来までのカウンセリング体制に加えて、③入学後4月に学校生活への不安や悩みを抱える生徒やその保護者が、SCと対面での教育相談（自宅からSCにオンライン相談やチャット相談ができる体制も整備）を行うことで、入学後の学校生活への支援を強化

### いじめ・不登校等対策強化事業

182,803

「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、生徒指導上の諸課題に実効的に対応するため、外部専門家の配置や、関係機関との連携強化等による生徒指導・教育相談体制の充実を図ります。

#### ■いじめ相談・支援体制の充実

- 全ての公立学校の児童生徒がスクールカウンセラー（SC）に相談できる体制の整備
- 中学校区単位でSCを配置し、コミュニティ・スクールの連携・協働体制等を生かしながら、小中連携により、SCを中核とした義務教育9年間の切れ目のない支援体制を構築
- 1人1台タブレット端末等を活用した、オンラインによる相談・カウンセリングの推進

- スクールソーシャルワーカー（SSW）による児童生徒・家庭への支援体制の充実
- エリアスーパーバイザーによる市町SSWへの指導助言及び県立学校支援
- ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー（FRアドバイザー）の派遣
- 全公立学校でSCによる「心理教育プログラム」等の心の教育を実施

#### ■SNSを活用した相談体制の運用

- SNSを活用して、いじめや不登校などの悩みについて、24時間いつでも連絡できる窓口を整備  
⇒ 電話相談に比べ、身近な悩み等を気軽に連絡できる等の効果

#### ■いじめの重大事態に係る外部専門家による児童生徒支援

- 重大事態等に対してSC、SSW等の専門家を派遣し、心のケア・早期復帰を支援
- SC、SSW合同研修会による外部専門家の資質向上及び連携強化

#### ■学校メンタルサポート事業

- 学校だけでは解決困難な問題行動等への緊急対応及びそのことに起因する幼児児童生徒や教職員等の精神的なケアなどのため、臨床心理士等の専門家を学校に派遣

#### ■法に基づく県のいじめ対策組織の運営

- 「山口県いじめ問題対策協議会」の開催
- 「山口県いじめ問題調査委員会」の運営

#### ■未然防止等に向けた調査研究事業

- こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究

#### ■研修の充実及び広報・啓発

- 「子どもの未来を考えるフォーラム」の開催
- 大学と連携したネット出前授業
- いじめの未然防止・自殺予防に係る教員研修会



## 新 不登校対策に係るステップアップルームの設置

## 給与費

通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う別室（ステップアップルーム）に、担当の専属教員（サポート教員）を配置し、対象生徒に個別の支援を行うことにより、教室への復帰や不登校の未然防止を図ります。

#### ■ステップアップルームにおける不登校対策の取組

- 専属教員（サポート教員）を配置
  - ・県内20校程度の中学校にサポート教員を配置し、教室への復帰や不登校の未然防止に取り組むため、ステップアップルームに通う生徒の学習支援を行うとともに、学校行事等（オンライン参加を含む）への参加を計画し、集団生活への適応について支援する。
- 不登校等生徒への支援の充実に向けた連絡会議の開催
  - ・ステップアップルーム実践校や市町教育委員会を対象に連絡会議を開催し、不登校対策の取組等についての情報交換及び協議等を行う。